

活動服（夏・冬）仕様書

生駒市消防本部

活動服（夏・冬）仕様書

1. 概要

この仕様書は、生駒市消防本部が採用する活動服（夏・冬）について定めたものである。

2. 総則

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき所属ごとにまとめて納品すること。
- (5) 証明書の提出については、入札者は入札時に使用生地についての紡績メーカーが発行した品質並びに原反出荷引受証明書を提出すること。
- (6) 納入業者は早急に試作品を提出し、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

3. 形式

(1) 上衣

台衿付きレギュラーカラー、前立て比翼付ファスナー、両胸雨蓋付きアウトポケットマジック止め両開きファスナー、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファスナー止め、右胸階級台マジック付き、背ヨーク切り替え、裾シャツ型

(2) 下衣

ワンタック、両脇ポケット、両大腿部カーゴポケット、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付、左右後片玉縁ポケット（左釦止め）、裾シングル始末、ウエスト全周囲ストレッチ機能

4. 主材料

使用表生地材料（夏素材）

ア 素材	:	東レ 難燃ストレッチトロピカル	S 2 4 1 8 T S
イ 混紡率	:	メタ系アラミド	7 3 %
		難燃ポリエステル	2 0 %
		導電性繊維混入	
ウ 色相	:	C / #	N T B (指定色)

使用副生地材料

- ア 素材 : 東レ 難燃ストレッチトロピカル NX4848S
イ 混紡率 : メタ系アラミド 94% パラ系アラミド 4%
ポリウレタン 2%
導電性繊維混入
ウ 色相 : C/# オレンジ (指定色)

使用表生地材料 (冬素材)

- ア 素材 : 東レ 難燃ストレッチツイル S2412TS
イ 混紡率 : メタ系アラミド 73% パラ系アラミド 5%
難燃ポリエステル 20% ポリウレタン 2%
導電性繊維混入
ウ 色相 : C/# NTB (指定色)

使用副生地材料

- ア 素材 : 東レ 難燃ストレッチツイル NX4040S
イ 混紡率 : メタ系アラミド 94% パラ系アラミド 4%
ポリウレタン 2%
導電性繊維混入
ウ 色相 : C/# オレンジ (指定色)

5. 縫製条件

ア. 針 数

3cm間で地縫いは12針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

イ. 穴かがり

上衣は平穴、下衣は鳩目穴小門止めとする。

ウ. ボタン付け

機械付け、又は手付けとする。

手付けは2本の糸を1個の穴に3~4回通し根巻きは3回以上とする。

エ. 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

オ. デザイン

FATHデザインに基づく立体構造のものとする。

カ. サイズ

体形に合わせてA体はスリムに、B体は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

6. 縫製要領

(1) 上衣

ア. 衿

衿には芯を入れ、表衿端に 12mm 幅のトリミングを入れ周囲にステッチをかける。ステッチ糸は表裏に同系色でかける。台衿は表裏を縫い合わせ、台衿で上衿を挟み地縫いし表よりステッチで押さえる。

イ. 前立て

左上前見返しと身頃見返し端にファスナーを合わせ、左上前端より 6mm 幅ステッチをかけ、更にファスナー付けのダブルステッチを下までかける。下前端は見返しとの間にファスナーを挟み前端にコバステッチで下まで押さえる。ファスナーはムシ見せとする。前立てのファスナー横にマジックテープを 3ヶ所取り付ける。左上前見返し側にマジックテープ（オス）、右下前にマジックテープ（メス）を付ける。

ウ. 胸ヨーク

左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかける。左胸切り替え位置より約 15mm 上、雨蓋長さの中心に、「生駒市消防本部」その下に「個人名」を刺繍する。（消防本部指定色・寸法）

エ. 肩章

表裏を縫い合わせ先三角形型釦止め、肩付け位置幅 50mm、長さ 150mm とし、周囲には 6mm ステッチをかける。肩先側は袖付け根に挟み、袖側より 40mm 入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。肩章先は穴かがりの釦止めとする。

オ. 胸ポケット・雨蓋

雨蓋は左右の胸ヨーク切り替え線に挟み付ける。長さ 150mm、周囲にステッチをかける。裏面・長さの中心にマジックテープ 25mm×80mm（オレンジオス）を付ける。左雨蓋の前中心側に約 25mm のペン刺し口を設ける。

ポケットは左右の胸ヨーク切り替え位置より 15mm 下にアウトポケット口幅 145mm、中心の深さ 160mm にコバステッチで周囲を付ける。ポケットの中心に、インダーツを付け配色はオレンジとする。

両開きファスナー仕様にする。

カ. 右胸台座

右胸切り替え位置より 15mm 上、フラップの長さの中心やや脇側に 25mm 幅×長さ 40mm のマジックテープ（メス）を取り付ける。

キ. 背ヨーク

1 枚仕立てV型ヨークとし、配色生地を使用する。後部背切り替え、前肩は肩章付け辺り位置で切り替える。切り替え線のヨーク側に 6mm 幅のステッチをかける。袖側にも 6mm 幅のステッチをかける。大きさは中心で約 25cm（サイズにより変動）とする。背ヨーク中央に紺色にて「生駒消防」とプリントする。その下に「奈良県」とプリントする。（消防本部指定色・寸法）

ク. 脇身頃

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールの上端は三つ折り始末をし、コバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。ベンチレーションホールの下端は二つ折りでオーバーロック始末し、6mm幅ステッチをかける。ベンチレーションホールは袖

下布を上を脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃側に 6mm 幅のステッチをかける。

ケ. 袖

2枚袖のカフス幅 60mm 付きとする。袖口に 2本タックを取り、長さ約 160mm のファスナーを設ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。左袖に別途指定のワッペン台を縫い付ける。

コ. 後身頃

後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へ 6mm 幅のステッチをかける。

サ. 裾

シャツ型とし、三つ折り始末とし 5mm 幅ステッチをかける。

シ. 片布・品質表示

左胸ポケット位置の身頃裏面に付ける。

ス. 衿吊り・サイズ表示

衿吊りは衿ぐり後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

(2) 下衣

ア. 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35mm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ. 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各 1 個付ける。ポケット口の長さ 160mm とし、口の上下端に閉止めをする。口にはコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。

エ. 後

左右のウエストに各 1 本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間(中心寄り)にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側の方へ 6mm 幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下身頃側へ 6mm 幅ステッチをかける。

ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

オ. 後ポケット

左右後に口幅 10mm、口の長さ 145mm の片玉縁ポケットを各 1 個付ける(玉縁作りミシン可)。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端は閉止めをする。ポケット向こう布(表地)とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。左後ろポケットのみ穴かがりボタン止めとする。

カ. カーゴポケット

両大腿部横に左右マチ付の上辺 210mm、長さ 240mm のアウトポケットを付ける。ポケット口はファスナー開き 170mm の突合せとし、玉縁の上下端はコバステッチをかける。

キ. 腰帯

マーベルト付きとし、幅約 40mm にストレッチ芯を貼り、ウエスト全周でストレッチ性を出す事とする。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

ク. ベルトループ

ベルト通し幅 60mm、長さ 20mm のものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後 2 カ所、合計 8 本付ける。ループ幅の両端はステッチをかける。

ケ. シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。

コ. 裾

裾はシングル、オーバーロックのハーフ始末とする。

サ. 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm 幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ. 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

ス. サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

セ. 片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

7. 寸法表

活動服上衣サイズ表

部位 サイズ	着 丈	肩 幅	胸 囲	胴 囲	衿 丈	ネック回り
AS	73	44	100	92	78	38
AM	75	46	105	97	81	39
AL	77	48	110	102	84	40
ALL	79	50	115	107	87	42
A3L	81	52	120	112	90	44
BS	73	48	110	107	78	42
BM	75	50	115	112	81	44

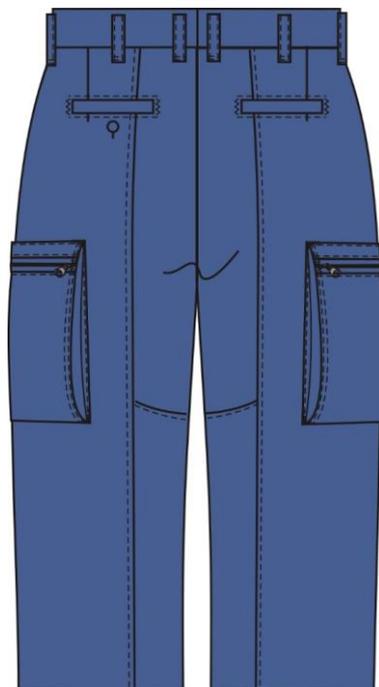
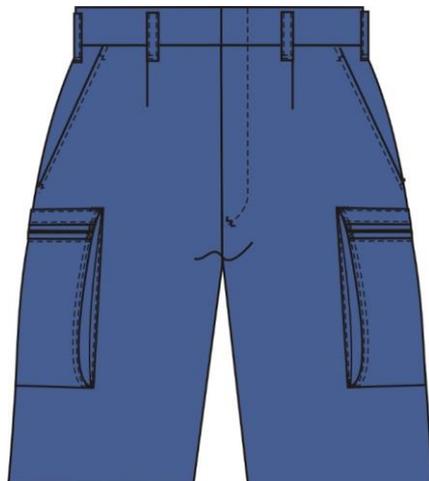
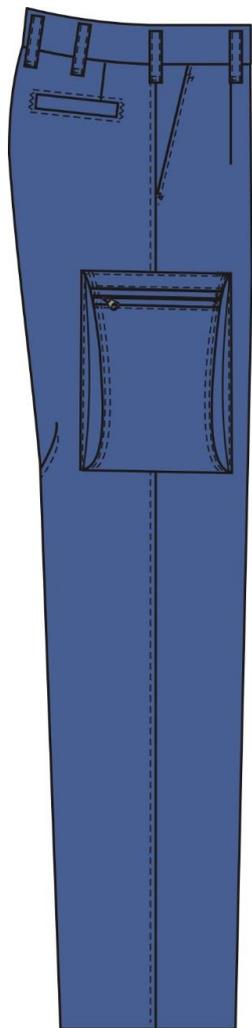
BL	77	52	120	117	84	46
BLL	79	54	125	122	87	48
B3L	81	56	130	127	90	50
B4L	81	58	140	137	91	52
B5L	81	60	150	147	92	54

活動服下衣(ズボン)サイズ表

部 位 サ イ ズ	ウエスト	渡り幅	裾幅
A1	70	33.5	20.5
A2	73	33.5	20.5
A3	76	34.5	21
A4	79	34.5	21
A5	82	35	21.5
A6	85	35.5	21.5
A7	88	36.5	22
B00	82	36.5	23
B0	85	37	23
B1	88	38	23.5
B2	91	38	24
B3	95	38.5	24
B4	100	39	24
B5	105	40	25
B6	110	41	25

参考図





消防吏員ストレッチ救急服仕様書

この仕様書は、生駒市消防本部（以下「当本部」という）が採用する救急服について必要な事項を規定する。

この救急服はストレッチ生地を使用し、また特殊立体裁断を採用することにより救急活動上のウェアリングストレスを軽減し、隊員の負担軽減をはかるものである。

1. 使用生地

1) 生地一般

- ア. 原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどない良質のものを使用するものとする。
- イ. 織り上りは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする。
- ウ. 上衣・ズボンの生地については、共にストレッチ性の高い生地を使用すること。

2) 主材料

上衣生地（冬生地）

項 目	規 格
品 名	帝人フロンティア エコストレッチピケ（ダストップSP加工品）
品 番	K85445
混 紡 率	ポリエステル 100%（制電糸入り）
糸 番 手	167T×167T
密 度	182×122（インチ間）
色 相	グレー系色（指定色）

ズボン生地(冬生地)

項 目	規 格
品 名	帝人フロンティア ストレッチツイル（SEK 赤ラベル）
品 番	T65440
混 紡 率	ポリエステル 100%（制電糸入り）
糸 番 手	167T×167T/2
密 度	122×66（インチ間）
色 相	グレー系色（指定色）

上衣生地（夏生地）

項 目	規 格
品 名	帝人フロンティア キュプラ混高通気トリコット（ダストップSP加工品）
品 番	T45035
混 紡 率	ポリエステル 85% キュプラ 15%（制電糸入り）

糸番手	ポリエステル 84T、56T、33T キュプラ 84T
密度	コース55×ウェル40本以上（インチ間）
色相	グレー系色（指定色）

ズボン生地(夏生地)

項目	規格
品名	帝人フロンティア サマーストレッチツイル（SEK 赤ラベル）
品番	T65439
混紡率	ポリエステル 100%（制電糸入り）
糸番手	167T×167T
密度	122×92（インチ間）
色相	グレー系色（指定色）

2. 形状

- 1) 上衣は、ボディナビデザインをベースにしたデザインを施したものとする。
- 2) 上衣は、前合せファスナー開閉式とする。
 - 長袖：袖口ファスナー式、胸ポケット雨蓋付きアウトポケット、両肩肩章付き
 - 半袖：胸ポケット雨蓋付きアウトポケット、両肩肩章付き
 - 共通：衿吊（デオドラントテープ）、脇（デオドラントテープ）付きとする。
- 3) ズボンはウエスト伸縮構造（活動性を考慮し、裏ゴム伸縮式に限る）を用いて外向きワンタック、前合せファスナー開閉式及び前カン開きとし、左右脇斜め切りポケット及び尻片玉縁ポケット付きとする。

3. 縫製

一般

- ア. 各部の縫い合わせは、縫い目の飛び、外れがなく優良であること。
- イ. 糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをすること。
- ウ. 縫い目数は指定通りにすること。
 - 地縫い 運針数 12針以上/3cm間
 - 飾りステッチ運針数 “ / ”
- エ. 飾りステッチは表ミシンとすること。
- オ. 各部の合標、曲線は充分注意すること。
- カ. 接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。
- キ. 布地の目は正確に取ること。

4. 上衣

1) 襟

- ア. 上襟は縦地に使い、剣の長さは約7cmとし、背中心で約4.5cmとする。
- イ. 襟は本体と同じ共生地のグレーを使用する。
- ウ. 台襟に替襟取り付け用釦を5ヶ所付ける。
- エ. 襟吊はデオドラント機能付きのものを付ける。

2) 前身頃

- ア. 前合せはファスナーと面ファスナーの開閉式とする。
- イ. 左前身頃は、約4cmの比翼仕立てとする。
- ウ. 右胸に階級章取り付け台を縫い付ける。サイズは縦約2.5cm×横約4cmで色はグレー系色とする。

3) 胸ポケット

- ア. 左右前身頃に挿みヒダ付きアウトポケットを付ける。
- イ. ポケットは端ミシンで縫いつける。
- ウ. ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。
- エ. ポケット上部中央に、面ファスナーB面を付ける。
- オ. 雨蓋裏面に面ファスナーA面を付け、地縫いの上、飾り縫いとする。
- カ. 左前雨蓋右側にペン差し穴をあける。

4) 後身頃

- ア. 水平型でヨーク下部、後身頃の上裁ち目にインターロックを掛け片倒し幅約0.2cmの飾りステッチをする。

5) 袖

- ア. 袖は3枚ハギとする。
- イ. カフスは接着芯を貼り、地縫い返しをし、幅約0.6cmの飾りステッチをする。
- ウ. カフスはファスナー開閉式・水かきなしとする。

6) 肩章

- ア. 両肩に適宜の位置に上衣生地で肩章を付ける。

7) 脇縫い及び袖縫い

- ア. インターロック縫いとし、脇下にはベンチレーションを設ける。
- イ. 前身頃・後身頃にデオドラントテープを付ける。

8) 裾縫い

- ア. 三つ巻き縫いとする。

9) 片布

- ア. 適宜な位置に氏名片布、品質クロス、ボディナビネームを縫い付ける。

10) 肩章カバー

- ア. 折り幅約6cm、長さ約10cmの反射布でできた筒状の肩章カバーを上衣1着につき、1組付属する。

1 1) 替襟

- ア. 本体の上衿よりやや大きめで芯地を貼った替襟（白襟）を上衣1着につき、1枚付属する。
- イ. 替襟にも防汚加工（ダストップ SP 加工）が施されていること。
- ウ. 替襟首側はグレー系配色とする。

1 2) エンブレム台

- 左袖に当本部が指定するエンブレム台を縫い付けること。

1 3) ネーム

- 左胸ポケットより上の位置に紺色で「生駒市消防本部／〇〇」と2段で刺繍すること。

5.ズボン

1) タック・ダーツ

- ア. 前身頃は左右1本を外向きに付け、後身頃は左右各2本縫いとする。

2) 腰帯

- ア. 巾約4cmとし、芯地入りで腰裏を付け、落としミシンがけとし両端に前カンを付ける。
- イ. ウエスト伸縮構造（裏ゴム伸縮式 / ギャザー式・金属・樹脂式は不可）を用いて左右約2cm拡張出来るようにする。

3) ベルト通し

- ア. 2cm巾のループを8本縫い付ける。

4) 脇ポケット

- ア. 斜め切りポケットを左右に付け、口巾約16cm、向当て布を付け口は0.6cmの飾りミシン縫いとし、上下口端をかん止めする。
- イ. 右袋内に小物ポケットを縫い付ける。

5) 内股

- ア. マチ付きとする。

6) 尻ポケット

- ア. 上端より約5cm下がりに口巾約14cm、深さ約19cmの片玉縁ポケットとする。
- イ. 口端にはそれぞれ、かん止めをする。

7) 前立て・天狗

- ア. 前立ては芯地を貼り、ファスナーを縫い付ける。
- イ. 天狗鼻付きとする。
- ウ. 前身頃との間にファスナーを挟み縫いし、下部をかん止めする。

8) 棒シック

- ア. 幅1.2cmのデオドラントテープを縫い付ける。

9) 穴かがり・釦つけ

ア. 天狗鼻・左尻ポケットにハトメ穴かがり・釦付けをする。

10) 片布・サイズマーク

ア. 適宜な位置に縫い付ける。

6. 寸法

(上衣)

単位：cm

	首廻	着丈	衿丈	胸囲
AS	37	72	76.5	100
AM	39	74	79.5	105
AL	42	76	82.5	110
ALL	44	78	85.5	115
A3L	45	80	88.5	120
BM	41	75	80	115
BL	43	78	83	120
BLL	45	78	86	125
B3L	47	80	89	130

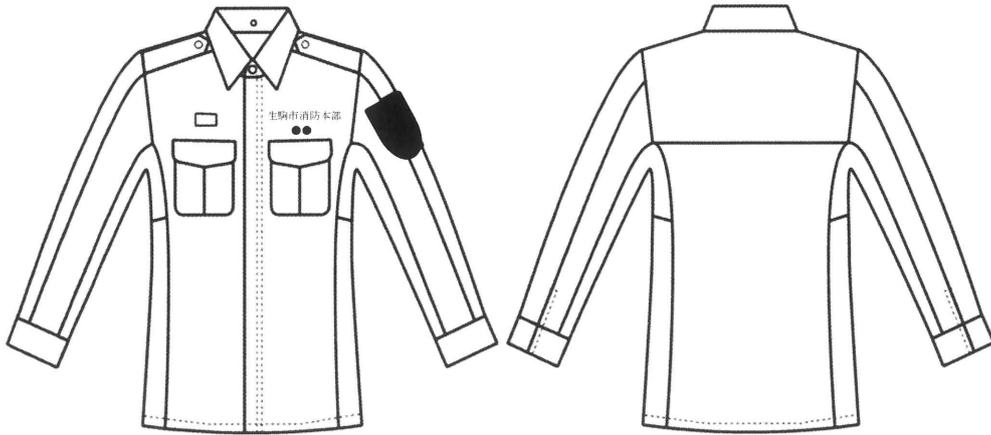
(ズボン)

単位：cm

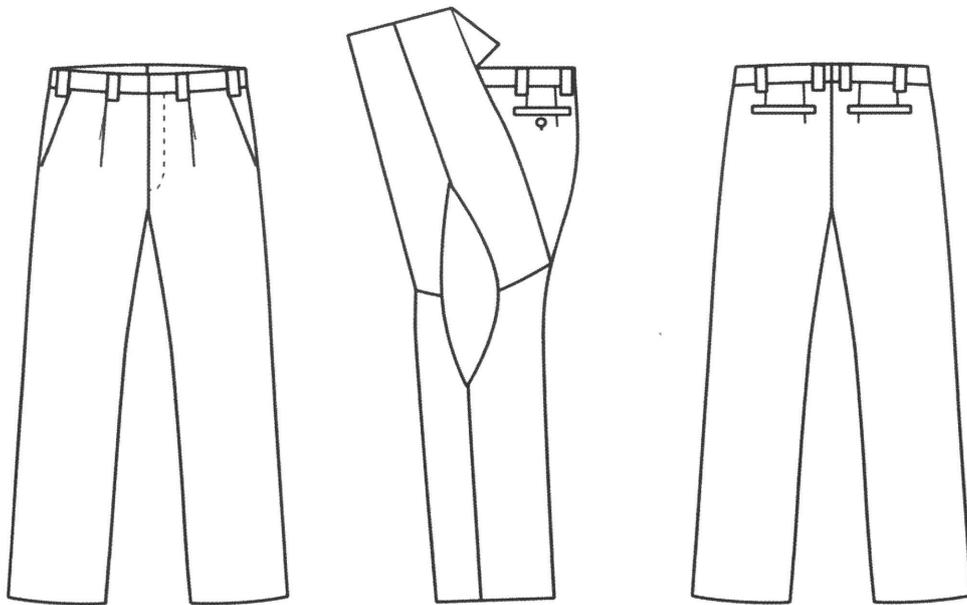
	ウエスト	渡り	股下
W70	70	31.0	85ハーフ
W73	73	32.0	
W76	76	33.5	
W79	79	34.5	
W82	82	36.0	
W85	85	37.5	
W88	88	38.5	
W91	91	40.0	
W95	95	41.5	
W100	100	43.5	
W105	105	46.0	
W110	110	48.0	
W115	115	50.0	
W120	120	52.0	
W125	125	54.5	

概要図

救急服 冬・夏 長袖（前立てファスナー・袖ファスナー）上衣



救急服 冬・夏 ズボン



救助服（夏・冬）仕様書

生駒市消防本部

この仕様書は、生駒市消防本部（以下「当本部」という）が採用する救助服について規定する。

この救助服は、上衣、ズボンともに特殊立体裁断も用いて縫製されたものであること。表生地は活動上の安全面に配慮し、主生地は難燃性・機械的強度に優れたアラミド繊維とすること。

品名：エミュファイター®救助服 NEO-ATH（A型）

1. 型式

(1) 上衣

- ①前身頃・後身頃・脇身頃及び、前袖・後袖・下袖・袖山及びヨーク続きからなる長袖型。
- ②前合わせ：黒皮付きファスナー式（衿先まで）。
- ③胸ポケット：黒革付きファスナー式切りポケット。
- ④袖口：黒革付きファスナー式、水かき付、カフス仕立て。
- ⑤肩章：肩章付き。
- ⑥脇下ベンチレーション式。

(2) ズボン

- ①前身頃・後身頃・脇身頃・内股部からなる長ズボン型。
- ②脇ポケット：黒革付きファスナー式、マチ付きアウトポケット。
- ③前あわせ：ファスナー式、前カン式。

2. 表生地

(1) 種類

- (冬) 帝人エクスファイア®サージ CX-2940（オレンジ）
- (夏) 芳香族ポリアミド先染めトロピカル導電繊維混入 帝人 CX-2910

(2) 混紡率

- (冬) メタ型アラミド 93%
- (冬) パラ型アラミド 7%
- (夏) メタ型芳香族ポリアミド 93%
- (夏) パラ型芳香剤ポリアミド 7%

制電糸織込み

3. 条件

(1) 針数

針目数は飾りステッチ、刺し、共に 3 cm 間に 10 針以上とする。

(2) 縫製糸

メタ型芳香族ポリアミド 40 番オレンジとする。

(3) 裁縫

糸調子は上下ともツレ、タルミのないようにし、縫い始め・縫い終わり

は返し針を完全に行うこと。

4. 縫製要領

1. 【上衣】

(1) 衿

ア 衿幅は、中央で約 10 cm・剣先で約 9 cm とし、衿裏には山刺しを施すこと。

イ 衿台として中央で幅約 3.5 cm の衿腰を切り替えしに付け、腰刺しは 5 本以上とする。

ウ 剣先部分まで、前身頃から続けてファスナーを縫い付ける。

(2) 身頃

ア 前中心は、黒革付きファスナーを衿先から前身頃にかけて挟み縫いする。下部には、冑止めを施す。

前身頃のファスナー開口部は、左右とも端に芯糸を入れる。

イ 肩章付とし、肩章は幅約 5.5 cm、長さ約 14.5cm、衿側は山型とする。肩章付け根は二つ折りし、クロスステッチをかけ、身頃に縫付け、更に約 3.5cm 衿側へ寄った箇所にダブルステッチにて身頃に縫い止める。肩章先は釦止めとする。

ウ 縦約 2.5 cm・横約 4 cm の階級章取り付け用面ファスナー（オレンジ色）を右胸ポケット上部から約 1 cm 上に縫い付ける。

エ 裾は、シャツ型とし、三つ折り縫いとする。

オ 前身頃刺子は、表生地を 2 枚重ねし、幅約 1.5 cm の刺し子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。

カ 後身頃刺子は、衿付け後ろ中心から約 27 cm 下りを標準（L寸）とし、表生地を 2 枚重ね、幅約 1.5 cm の刺子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。

キ 脇身頃下側布と下袖布を縫い合わせ、脇部下部にベンチレーションを設ける

ク ネームは、左胸ポケット上部に紺色で刺繍する。2 段で上段に「生駒市消防本部」下段に氏名（姓）を明朝体で刺繍する。ただし同姓の職員がいる者については姓の次に名の第一文字を刺繍する。

ケ 背部は、後身頃中央上部に 2 段で上段に「生駒消防」を下段に「奈良県」を紺色、ゴシック体でプリントにて入れる。なお、大きさやバランス等の詳細は別途生駒市消防本部と協議すること。

(3) 袖

ア 袖は、4 枚のハギ及びヨークからの続き袖にて構成される構造とし、肩部分には、表生地を 2 枚重ね、幅約 1.5 cm の刺子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。

- イ 袖口は両玉縁、約 17 cm のファスナーで開閉するものとし、接着芯を貼ったカフス式（カフス幅約 6 cm）とする。
開き口にはカフス先端から開き止まりまで水かきを付け、ファスナーを表地と水かきに挟み縫いする。水かき端部は約 0.5 cm の三つ折り縫いとする。
- ウ 肘部分には、表生地を 2 枚重ねし、幅約 1.5 cm の刺子を入れた当て布を取り付ける。当て布には運動性を良くするためにダーツを設ける。
- エ 左袖に別途指定のワッペン台を縫い付ける。

(4) 胸ポケット

- ア 左右前身頃に切りポケットを各 1 箇所、二条縫いで縫い付ける。
- イ ポケット口は両玉縁、口幅約 14 cm とし、黒革付ファスナーを縫い付ける。
- ウ ファスナーは、閉じて脇側とする。
- エ 左ポケット内に、縦約 4 cm・横約 5 cm の 2 本入りペン差し用ループを縫い付ける。

(5) 片布

- ア 右胸ポケット裏側に氏名片布、品質表示、警告表示を縫い付ける。
- イ 衿部分にサイズ表示及び衿吊りを縫い付ける。

2. 【ズボン】

(1) 身頃

- ア 前身頃 3 枚ハギ、後身頃 2 枚ハギ、脇身頃及び内股部各 2 枚ハギで構成された構造とする。前身頃・後身頃・脇身頃及び内股部の上部及び膝当て部は表生地を 2 枚重ねし、幅約 1.5 cm の刺子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。
- イ 脇・尻・内股縫いは、インターロック、片倒し縫いを施す。

(2) 脇ポケット

- ア 左右に各 1 個、アウトポケットを縫い付け、風きん部分は一枚裁ちとする。
- イ ポケット付け位置は中央部で上端から約 29 cm 下がりを目安とする。
- ウ ポケット口は両玉縁とし、口幅約 19 cm、斜め式とする。
- エ 黒革付ファスナー開閉式とし、ファスナーは閉じて尻側とする。

(3) 前合せ

前合わせは、前カン及びファスナー式とし、ファスナー止まり下部には閉止めを施す。

(4) ウエスト・ベルト通し

- ア 腰裏にすべり止めマーベルトを縫い付ける。

イ ベルト通しは、縦有効幅約 6 cm・横約 9 cm とする。位置は、後中央に 1 本、左右に各 2 本の計 5 本とし、ウエスト上端から約 1 cm 下げて縫い、下部は二重縫いで身頃に止め、両端に閉止めを施す。

(5) 裾口

裾口には絞り紐を入れ、踵止めゴム紐を縫い付ける。

(6) 片布

左脇ポケット裏側に氏名片布、品質表示、警告表示、サイズ表示を縫い付ける。

5. 寸法表

サイズ	着丈	胸囲	胴囲	裾丈
SS	73	102	95	77
S	73	106	99	79
M	75	110	103	81
L	77	116	109	84
LL	80	122	115	86
3L	81	128	121	89
4L	84	134	127	91
5L	86	140	133	94

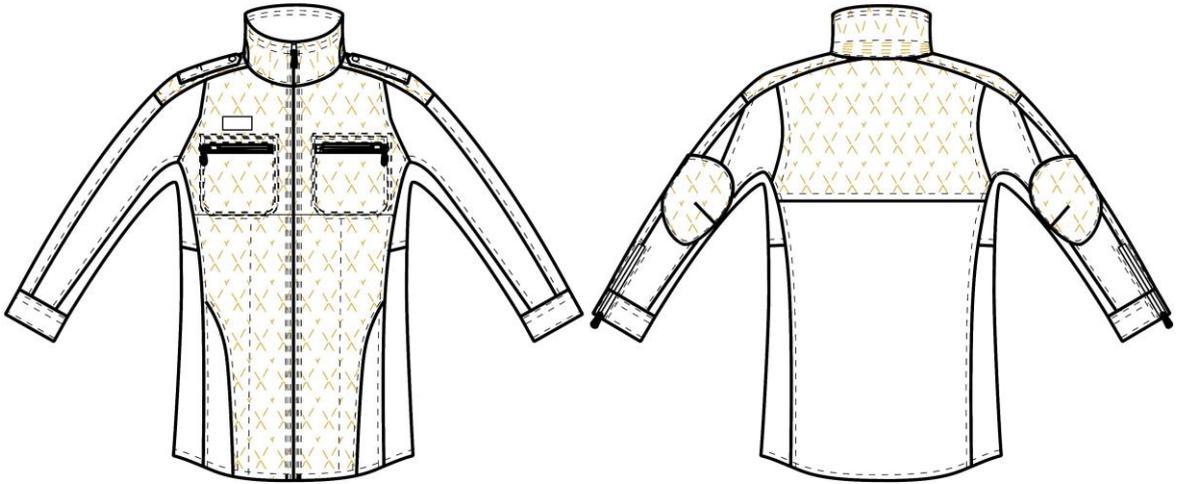
サイズ	ウエスト	ヒップ	渡り幅
SS	71	96	32
S	75	100	33
M	79	104	34
L	83	108	36
LL	87	112	37
3L	91	116	38
4L	95	120	40
5L	99	124	41

*股下 79 cm

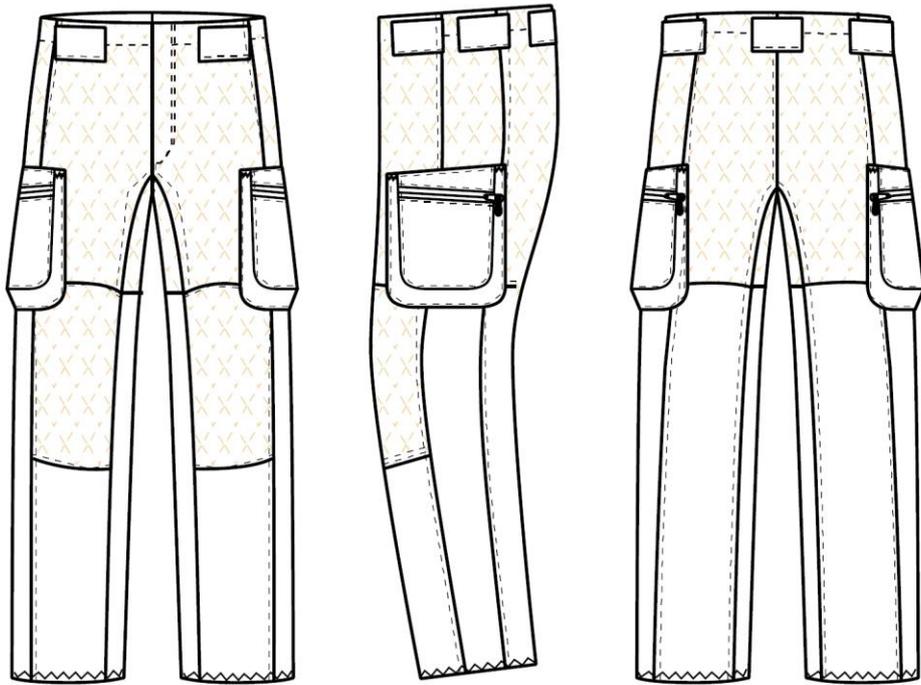
6. 附則

契約業者は、生地メーカーが発行する「品質及び出荷引受証明書」を提出すること。

<概要図・上衣>



<概要図・ズボン>



指示事項

1. 品名及び数量

【活動服】

- ・冬上衣×27着
- ・冬下衣×29着
- ・夏上衣×27着
- ・夏下衣×29着

【救急服】

- ・冬上衣×2着
- ・冬下衣×1着
- ・夏上衣×5着
- ・夏下衣×4着

【救助服】

- ・冬上衣×1着
- ・冬下衣×4着
- ・夏上衣×4着
- ・夏下衣×6着

2. 納入期限

- ・令和8年1月30日（金）

3. 納入場所

- ・生駒市消防本部総務課

4. 採寸について

(1) サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。ズボンの股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。

(2) 日時

- ・令和7年7月7日（月）午前
- 7月8日（火）午前
- 7月9日（水）午前

※採寸場所、時間の詳細については落札者と協議し決定とする。